



現場から（最近のニュースから）

対人関係どうしますか



昔も今も、対人関係は問題になることが多いですが、コロナ以降、人との関係がうまくいかない人が増えていると言われていました。家族の中でも通じることが難しく、夫婦、親子、親戚などの問題もあります。少しでも関係が改善するようにと、カウンセリングも行われます。夫婦カウンセリングは、ナチスが作り出したそう

で、1920年代にドイツで始められた優生学運動の取り組みが発端だということです。しかし、効果はなかったという結果が出ているそうです。人間関係の中で、特に夫婦関係がうまくいかないのはなぜかを考える、『残酷すぎる人間法則 9割まちがえる「対人関係のウソ」を科学する』（飛鳥新社）を一部、編集した記事がありました。

夫婦の間だけではないでしょうが、「否定的な感情の上書き（negative sentiment override）」と言われる問題が、関係を悪化させるということです。いったん人間関係が悪化すると、相手を見るとき、まるで敵かのように思ってしまうことがあるそうです。相手こそすべての問題の根源で、自分の一生を台無しにするために、邪悪な力によって送り込まれたとすら思うようになるということです。そのように思うのは、相手の何かではなく、自分の中に自分の思いを閉じ込めているからだと言っています。「私たちは人の心を読み取るのが苦手だ。たとえパートナーの心でも。ジョージ・バーナードショーが言ったように、『コミュニケーションにおける唯一最大の問題は、それが達成されたという幻想である』…やがて思い込みがどんどん膨れあがり、あなたはパートナーと会話するのではなく、相手が何を言うか『わかっている』自分自身とだけ会話をするようになる。また、彼／彼女は知っているはずだからという理由で、説明を求めたり、言葉にしないこともある。」それゆえ、解決策としては、喧嘩でも良いので相手とコミュニケーションを取ることだと言われます。相手と会話することにより、対処することが出て来るはずだということです。（9月16日 GOETHE< ナチスも克服できなかった、夫婦を離婚へと導く最大の要因“NSO”とは>より）

「話し合えば」解決するということは、いろいろな場面で言われます。国どうしでも、戦争するのではなく、話し合えば良いと言われることがあります。しかし、どんなに話し合いをしても、まったく話が通じなくて、関係が修復できないことが、ほとんどではないでしょうか。それは、あなたが悪いのでも、相手が悪いのでもありません。自分自身も気付かないのですが、それぞれの中にすでに入っている考えで、先入観を持って見ているからです。つまり、自分が自分の世界から出られず、その世界から相手はこうだろうと見ているのです。そのようになるしかない、人間の根底にある事実があります。あなたが捕まっている「自分」という世界、また、その世界から見る先入観から出るには、すべての人の根底にある事実を知る必要があります。あなたが閉じ込められているところから解放されるとき、自分自身に対する考えも、他の人に対する考えも変わって来るでしょう。そのように解放される道について、あなたにお分かちしたいのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください